



目指す学校像

明日また来たくなる学校

生命輝く赤中生



「学校ブログ」掲載中!

赤見台中HP



黙想 ～ 無言清掃

校長 穠山 孝幸

本年度がスタートして早2か月が過ぎました。本原稿を作成中の5月末時点では、生徒たちは今年度から1学期に開催とした体育祭に向けて、一生懸命に練習を行っています。不安定な天候の影響により予行練習の日程を変更もあり、無事に実施できることを願っております。

さて、6月6日は本校の開校記念日です。今から38年前の昭和61年4月に鴻巣北中学校から分離し、赤見台中学校が創設されました。校章が制定された6月6日を、開校記念日にしたとのことです。市内8校の中で最も新しい本校ですが、創立39年目を迎え、近年は学校施設のあちらこちらで修理や補修を行っています。

そのような今の赤中ですが、生徒（職員も）は毎日しっかりと清掃を行い、学習環境を整えています。昨年度も書かせていただきましたが、本校の清掃活動は、担当場所に移動したら、放送による音楽が流れる約1分間の黙想をしてから清掃に取り組むという特徴があります。放送で流れる「トロイメライ」（ロベルト・シューマン作）というピアノ曲は、黙想をして心を落ち着けてから取り組むのにぴったりの曲です。生徒はその場で、直立不動の姿勢で黙想します。掃除をいち早く始めている生徒も、移動中の生徒も一時停止します。校内がシーンとし、音楽だけが静かに流れています。私はこれを最初に見たとき「大事な清掃時間中に、なぜ静止している？」と驚きましたが、心を落ち着かせて気持ちを集中させることを、今ではとてもよいことだと思っています。

黙想が終わると、生徒はそれぞれの清掃に取り掛かります。私語を発せず、黙々と集中して行います。この無言清掃は、先生に聞かなくともできるよう、自分の清掃内容を理解しておくことが重要です。さらに、自分の担当箇所が早く終われば、時間内にまだやるべきことを見つけて行います。終了時には班員がそろって班長のもと振り返りを行って、担当の先生の確認を受けます。

この取組を毎日行い、普段の清掃で行き届かない箇所は大掃除の時に取り組むことで、本校の清潔な環境が保たれています。経年劣化による施設の老朽化はやむを得ないところですが、できる限り学校をきれいに維持し、未来永劫、後輩に引き継いでもらいたいと思います。

赤見台中学校「生徒心得」

- ①気持ちのよいあいさつ
- ②落ち着いた学習態度
- ③時間を守る
- ④きれいな学校

中学校生活の手引きより

